

沿革

昭和

- 47. 4. 1 西三河地区県立学校開設準備事務取扱発令 岸本六郎
- 47. 8. 8 校舎建築第 1 期工事起工
- 47.11. 5 愛知県立碧南工業高等学校（仮称）として設置学科（機械科、建築科、環境工学科）公告
- 48. 3.31 第 1 期工事として本館（鉄筋 4 階 3,408 m²）、校舎棟（鉄筋 4 階 1,044 m²）、産振棟（鉄筋 2 階 3,240 m²）、武道場（鉄筋平屋 364 m²）、変電室、渡り廊下竣工
- 48. 4. 1 昭和 47 年愛知県条例第 57 号により愛知県立碧南高等学校より機械科を分離吸収し、建築科、環境工学科を加え、愛知県立碧南工業高等学校として開校。
（開校時全日制第 1 学年は、機械科 2 学級、建築科・環境工学科各 1 学級、第 2・3 学年は機械科各 3 学級の計 10 学級、定時制は機械科各 2 学級、計 8 学級で発足）
校長 岸本六郎 就任
- 48. 6. 9 開校式挙行
- 49. 2.16 校旗・校歌制定
- 49. 4. 1 電子工学科（1 学級）新設
- 49. 4.15 運動場及びコート整地工事完了
- 49. 6.30 第 2 期工事として校舎棟増築（鉄筋 4 階 1,233 m²）、渡り廊下（鉄筋 2 階 251 m²）、正門、通用門、フェンス竣工
- 49. 9.30 産振棟増築（鉄筋 3 階 1,418 m²）、鋳鍛造実習棟（鉄筋平屋 437 m²）、排水処理施設（41 m²）竣工
- 49.10.15 体育館（鉄筋、鉄骨一部 2 階、附属棟含 1,409 m²）竣工
- 50. 2.28 給食室（83 m²）、プール及び附属棟（100 m²）、クラブ室（102 m²）竣工
- 50. 3.31 第 3 期工事としての食堂（鉄筋、鉄骨平屋 270 m²）、産振棟（鉄筋 3 階 1,418 m²）、クラブ室（102 m²）、体育準備室（34 m²）、体育器具庫・屋外便所（77 m²）竣工
- 53. 4. 1 機械科（3 学級）、電子工学科（2 学級）各 1 学級増募となる
- 54. 3.20 産振棟増築（鉄筋 4 階 1,327 m²）竣工
- 54. 4. 1 校長 山本富男 就任

- 55. 2.12 産振棟増築（鉄筋 4 階 810 m²）竣工
- 55. 3.20 弓道場（鉄骨 113.13 m²）竣工
- 57.10.23 創立 10 周年記念式典を挙
- 58. 4. 1 定時制 機械科 単学級となる
校長 本多英雄 就任
- 59. 3.27 南産振棟（鉄筋 4 階 1,796 m²）竣工
- 60. 4. 1 校長 神谷咲雄 就任
- 63. 4. 1 電子工学科 1 学級増（3 学級）22 学級となる

平成

- 元. 4. 1 機械科 1 学級増（4 学級）24 学級となる（機械科 10、電子工学科 8、建築科 3、環境工学 3）
校長 中野八十一郎 就任
- 2. 4. 1 機械科 1 学級減（3 学級） 電子工学科 1 学級減（2 学級）
- 3. 4. 1 22 学級となる（機械科 9、電子工学科 7、建築科 3、環境工学科 3）
- 4. 4. 1 21 学級となる（機械科 9、電子工学科 6、建築科 3、環境工学科 3）
- 4.10.13 創立 20 周年記念式典を挙
米国ワシントン州エドモンズ市エドモンズ・ウッドウェイ高校と姉妹校提携
調印式挙
- 6. 4. 1 新入生から制服変更
校長 都築俊介 就任
- 8. 4. 1 機械科 1 学級減（2 学級）20 学級となる（機械科 8、電子工学科 6、建築科 3、環境工学科 3）
- 9. 4. 1 19 学級となる（機械科 7、電子工学科 6、建築科 3、環境工学科 3）
- 10. 4. 1 18 学級となる（機械科 6、電子工学科 6、建築科 3、環境工学科 3）
校長 今泉 勇 就任
- 11. 3.31 平成 10 年度産業活性化人材養成事業完成
- 12. 6.12 米国ワシントン州メドウデール高校と姉妹校提携を結び、エドモンズ・ウッドウェイ高校との提携を解消
- 13. 4. 1 校長 水野遵二 就任
- 14.11. 8 創立 30 周年記念式典を挙